

JAPAN SHOP2015 3月上旬東京ビックサイトで開催される サンゲツ伝統工芸品壁紙出展

第44回店舗総合見本市「JAPAN SHOP2015」が3月3日から6日に東京ビッグサイト東4ホールで開催された。日経新聞主催「日経メッセ街づくり・店づくり総合展」の一つとして行われたもので、商空間デザイン・ディスプレイ、装飾・インテリア資材、照明や店舗用建材・什器・施設材等々の177社が出展し、557小間の展示でそれぞれ熱意を込めた提案を行っていた。

壁装と内装仕上げ関係では、サンゲツが壁紙「SHI TSU RA HI(しつらひ)」をメインに、デジタルプリントの技術を用いた壁紙、クリアな装飾材ガラスフィルム、並びに、フロアタイルとカーペットタイルをミックスさせた新しい床材を提案するなどの展示を行っていた。

サンゲツは、メイン提案のしつらひについて、「古来の伝統文化が息づく美しい工芸品に現代のテイストを加え、日本の象徴的な素材や風景、紋様を壁紙にした「SHI TSU RA HI(しつらひ)」シリーズを「反物」に見立て、高さ6mにもなるダイナミックな展示を行った」と説明している。

他には、石山が「マグの相方」、「マグフレンズ」、「マグネット商品」を出展したり、シンコー北陸、トッパン・コスモ、丸二なども出展していた。また、ニチエ(株)がデジタルプリント壁紙を提案、プリント機械を実演・出展していた、デジタルプリント機は他にも出展が見られた。

壁装新聞(第421号)より引用